

現代中国研究の第1人者 加々美光行さん退職記念講演会

日・中の国家間対立の背後にあるもの — 真の友好を求めて —

尖閣諸島をめぐる日本と中国の領有権をめぐる争いは深まるばかりです。中国と軍事的に対抗するためには「日米安保体制」を強化して沖縄・辺野古に米軍基地をつくるのも仕方ない。沖縄にガマンしてもらわないと…という風潮も広まっています。自衛隊の装備も増強して兵器開発も急がないと中国に負けてしまう、とも言われます。

はたしてそれがいいのでしょうか? 日本も中国も国民生活に格差がひろがり、いくら働いてもまとまに食べていかれない階層が増えています。国民の不満の高まりを利用して否、そらすために意図的に反中国の、反日のナショナリズムを煽り立てているのではないか?

反動安倍政権の暴走を止めるために、中国研究の第一人者の加々美先生に語っていただき議論を深めましょう。今回加々美先生の講演を是非に、と4団体が共催します。加々美先生は3月末をもって勤務校愛知大学を定年退職されます。今回が氏の最終講演にもなります。



日時 **3月18日(火)**
14:00～16:00 (開場13:30)

会場 **愛知大学車道校舎
本館10階1001教室**
(地下鉄「車道」1番出口)

共催: 愛大九条の会 第9条の会なごや 東海
放送人九条の会 憲法「九条の会」アピー
ルに賛同する愛知・大学人ネットワーク

参加費 500円(学生無料)

連絡先

☆ 第9条の会なごや
名古屋市中区錦2-5-31 長者町相互ビル506
携帯 090-9171-6038(加藤)
☆ 愛大九条の会
jimukyoku@aidai9jo.sakura.ne.jp

加々美光行さん
(かがみ みつゆき)

愛知大学教授

1944年大阪生まれ。東京大学文学部卒業。アジア経済研究所主任研究員、愛知大学法学部教授、法学研究科長、中国研究科長を経て、97年に同大学に現代中国学部設立、初代学部長。2002年同大学に国際中国学研究センター(ICCS)設立。初代所長。

『逆説としての中国革命—〈反近代〉精神の敗北』(田畠書店) 『歴史のなかの中国文化大革命』(岩波書店)
『鏡の中の日本と中国』(日本評論社)
『市場経済化する中国』『知られざる
祈り—中国の民族問題』ほか 著書・
論文多数